

色づき始めた秋の街中で、今出川の「美」を再発見しよう。

イマ＊イチ

TAKE FREE

NO.97
2023.10

特集

「美」

特集 「美」／企画 「つながり」

連載 これがキョウジュの生きる道 2023

同志社大学文学部美学芸術学科 佐藤守弘教授

読者プレゼント WOT映画鑑賞ペアチケット

€1
.....

イマデガワでイチバンの地域情報誌

目次

〇二. 特集 「美」

〇三. 北野ラボ (KITANO LAB)

〇四. 二手舎 京都

〇五. 路地裏3坪雑貨店

〇六. 織 (SHIKI)

〇七. Azulejo PICO

〇八. 特集地図

一〇. 企画 「つながり」

一一. 連載 「これがキョウジユの生きる道 2023」

一四. 出張版スポーツアトム

一六. キャンパスインフォメーション

一七. ボランティア支援室からのお知らせ

一八. WOT・CT

二〇. コラム 「私のイマ*イチ」

二一. 編集後記／読者プレゼント

秋

北野ラボ (KITANO LAB)

コンフィチュール・シロップ専門店

北野天満宮の門前、可愛らしい看板を目印に少し路地を進むとコンフィチュール・シロップ専門店「北野ラボ」が姿を見せる。店内に入ると、棚一面にライトアップされたコンフィチュールが暖かな光を放っている。美術館のような空気感に一気に心を惹きつけられた。

北野ラボでは、自家製コンフィチュールとシロップの瓶詰めを販売している他、季節のフルーツを用いたパフェやクリームソーダ、ケーキなどを堪能することができる。使用されるフルーツは、オーナーの吉水さん自らが全国の農家さんを訪れ、厳選したものである。甘さだけでなく、「酸味」や「渋み」も持つ原種に近いフルーツを扱っているそうだ。このような素材に適したレシピを研究することでフルーツ本来の香りや風味を残しているのだとか。



高さ30cmはあろうかというボリュームーな見た目とは裏腹に、とてもあっさりとした味わい。

苺パフェ ¥1800 (税抜き)

01 | シックな空間で洗練されたパフェを。



コンフィチュールは30種類、シロップは20種類ほど扱っている。梅が咲く観光シーズンには、幅広い年齢層のお客様が多く訪れるという。



本日頂いたのは看板メニューの苺パフェ。苺・木母のコンフィチュールとフレッシュな苺を贅沢に使った一品である。絵に描いたかのような姿は圧巻の美しさで、まさに芸術品である。上段には自家製パナアイスが苺を纏っており、ひんやりと甘い味わいに思わず笑みが溢れた。中段は二転してふわふわのケーキ生地やゴロッとしたクッキー生地のシュトロイゼルが使われており、食感を楽しむことができる。最後に下段のさつぱりとした苺のジュレをいっただいて完成。細部までこだわり抜かれた至高のパフェは最後まで飽きることなく堪能することができた。10月は、赤い果肉を持つ青森県産のジエネバリンゴを用いたメニューがおすすすめということであったが、こちらも舌鼓を打つことは必至だろう。



最上部には黒胡麻を使ったチュイールダンテルや、紫蘇の花が添えられており、独創的な味わい。

- 〒602-8386
京都市上京区御前通一条上馬喰町914番地
- 月・火 (祝日、25日の場合営業)
- 嵐電「北野白梅町」駅から徒歩5分
- 12:00 ~ 18:00 (LO.17:30)

特集

「美」

「美」をめぐる

ショーウィンドウに並んだキラキラしたフルーツに惹かれて、お店の中へ。お話を聞くと、なにやら様々な美の秘訣があるみたい。色づき始めた秋の街中で、今出川の「美」を再発見しよう。

- スイーツの美 ▶ p.03
- 古書の美 ▶ p.04
- ハンドメイドの美 ▶ p.05
- チョコレートの美 ▶ p.06
- 装飾タイルの美 ▶ p.07

路 地裏 3 坪雑貨店



2



1

03 | それぞれの「好き」と出逢うお店



3

「誰かの言う綺麗なものではなく、自分が好きだと思っただけのもの、身につけてほしい。」そう話すのは、同志社大学新町キャンパス近くの閑静な路地裏にある「路地裏3坪雑貨店」で、オーダーメイドアクセサリーの製作をされている岸田さん。こちらの烏丸今出川店では、様々な作家さんよって作られたハンドメイドアクセサリーの販売に加えて、自分の好みを取り入れたオーダーメイドアクセサリーを製作してもらうことができる。

お店に入ると、たくさんの可愛いアクセサリーに惹きつけられ、思わず心を奪われた。お花やパール、ビーズで作られたアクセサリー。どこをみても心がワクワク



「お店には素敵な看板も」

1. 洗練された花のアクセサリー。欠けた様子には「妖精の恋の花占いのあと」という素敵なストーリーが込められている。
2. 絵画をモチーフにした鮮やかなアクセサリー。
3. 細かなビーズで作られたアクセサリーは、好きな色やパーソナルカラーに合わせてオーダーメイドできる。
4. 「美」と「好き」の詰まった秘密基地のような店内。

〒602-0036
京都市上京区時鳥屋町 147-1

不定期 (週3 営業 / 詳細は Instagram : @color_idea.ls にてお知らせ)

地下鉄「今出川」駅 2 番出口から徒歩 2 分

12:00 ~ 18:00



4



1

予約制の貸し切り本屋

京都市営地下鉄烏丸線 鞍馬口駅から徒歩 8 分、細い路地を進んだ先にある古書店「二手舎」の京都店。オンラインでの本の販売・買い取りをメインで行いながら、予約制の貸し切り本屋という珍しい業態の古書店だ。事前の Web 予約により貸切ることができ、我が家のようにくつろぎながら国内外の貴重なアートブックや古書を読むことができる。また毎月 20 日前後はオープンデイとなっていて、予約無しでも気軽に入店することができる。

二手舎 京都

〒602-0019
京都市上京区下木下町 144-4

不定休

地下鉄烏丸線「鞍馬口」駅から徒歩 8 分

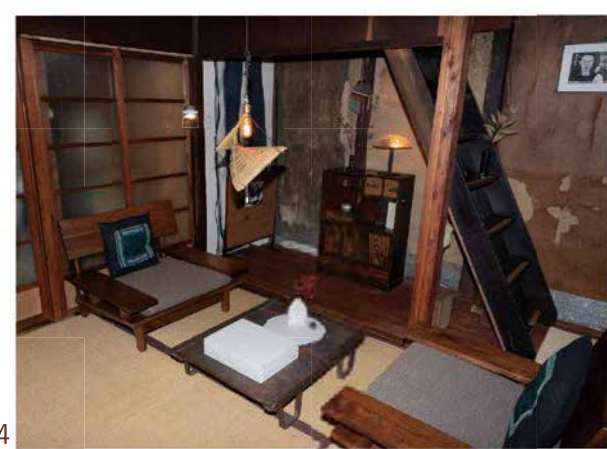
13:00 ~ 17:00 (オープンデイ)



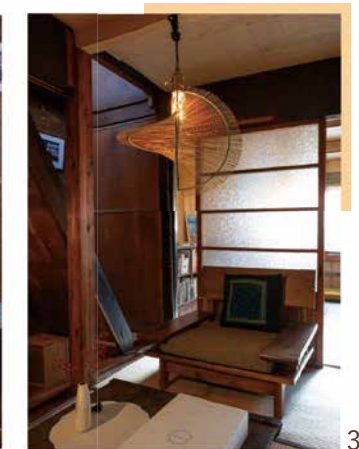
2

02 | 古いものに宿る新しさの再発見

1. 京都らしさとアジアらしさが上手く融合したエキゾチックな外観。
- 2-4. 様々な国をルーツに持つインテリアが集まった魅力いっぱい空間。日常とはまた違った心地よさの溢れる雰囲気は、「いつまでもここで過ごしたい」と思わせてくれる。



4



3

本と写真の中にある空間

「ここ京都店の店主は台湾出身のアマンダ・ローさん。京都を訪れた際、京町屋ながらもどこか中国や台湾のようにも感じた不思議な雰囲気のこの家に一目惚れ。もともと東京の店舗で二手舎の仕事を手伝っていたアマンダさんはすぐに京都店を開くことを決意したそう。ただ本を買ってもらうだけではなく気軽に読みにきてほしい。そんな思いからニユートラルな空間を意識し、店づくりを行っているそう。京町屋の中にアジアンテイストのインテリア、照明はデンマークやイタリアのデザインのものが入っているのだが、なぜか心落ち着き、つつい居居してしまう。

またアマンダさんは新たな試みを考えている。それは書店の貸し切りだけでなく、お茶の体験や、本を作ってみたい人からの相談に乗ることである。つまり、ただ本を並べて売っただけではない、新しい本屋の形を模索している。「面白そう」、「新しい発見があるかもしれない」、そんなちよつとした好奇心を持って気軽に訪れてみてほしい。

ポルトガルの装飾タイル専門店、Azulejo PICO (アズレージョ・ピコ)。ここでは、ポルトガルの職人が手描きしたタイルを直輸入し、販売している。店名の「Azulejo」は、ポルトガル語でタイルという意味。「PICO」は、ポルトガルのアゾレス諸島にあるピコ山の風景が富士山に似ていたことから、親しみを感じて名づけたとのこと。店主の深越さんは、ポルトガルへ留学した際にアズレージョの存在を知ったと語る。帰国後は、外資系のハウスメーカーに就職し、並行して友人のアズレージョの輸入販売をサポートすることに。そして徐々に情熱が高まり、店の開業に至ったのだという。



Azulejo PICO

05 | 幾星霜を経て、
なお鮮やかなまま色づく



1. 鶏モチーフが可愛いポップな柄のタイル。雄鶏が鳴いたことで冤罪が晴れたという伝説から、ポルトガルでは雄鶏のモチーフがいたるところに見られるのだとか。
2. 青を基調としたシングルタイル。繊細な模様に見惚れるほどの美しさ。
3. 1段目は紋章のシングルタイルで、2段目と3段目はタイルを複数枚組み合わせて楽しむ連続パターン柄、パドラーン。
4. 多種多様なタイルがずらりと並ぶ店内。

ポルトガル輸入の可愛いツナ缶達♪



永遠の美、アズレージョ
アズレージョは絵画と異なり、日に当たっても色褪せない。さらに、時間・天気・季節によって、さまざまな表情を見せる。深越さんは、このような点に永遠の美しさを感じるのだと語る。特に目を引いたのは、青のシングルタイル。単色だが、濃淡や筆づかいが一枚一枚異なっていて、吸い込まれるような美しさだ。花はポルトガルの伝統柄で、海は大航海時代を表す。17世紀から18世紀に、ヨーロッパではバロックやロココ調の装飾過多な芸術様式や青一色のタイルが流行した。ポルトガルもその影響を受け、このような独自のデザインが確立していったのだという。この他にも、店内には植物・フルーツ・魚など多種多様な柄のタイルが並ぶ。日常に彩りを添えるため、あなたもぜひAzulejo PICOを訪れてみてはいかがだろうか。

- 〒602-8061
京都市上京区甲斐守町 121-3
- 日・月・月末月初の4日間
- 市バス「堀川中立売」から徒歩3分
- 13:00 ~ 17:00

橋公園に面した看板のないケーキ屋さん「織(オリ)」。「織物の右にある扉から入ると、目に飛び込んでくるのは整然と並べられた美しいケーキたち。織では季節のフルーツをふんだんに使ったスイーツを味わうことができる。8月半ばの取材では、当時旬だったシャインマスカットを用いた「ヴェール」をいただいた。ジューシーなシャインマスカットとつるつる喉を通り過ぎるエルダーフラワーのジュレが、暑い日差しの中で癒しをくれた。今はどんな季節のスイーツがあるのか、覗きに行くのも織の一つの楽しみ方かもしれない。

看板のないケーキ屋



織 SHIKI

04 | 西陣織のように美しく織り上げる



1. 一つ一つにこだわりが詰まった、まるで宝石のように美しいケーキ。
2. 旬の新鮮なシャインマスカットを使ったケーキ「ヴェール」(税込700円)。
3. ポンポンショコラやBASINなど、お土産にもぴったりの商品が並ぶショーケースも見逃せない。
- 4, 5. アーティスティックなデザインが秀逸な「KYOTO セレクション」(税込1600円)。断面図も美しい二層構造のショコラがポイント。
6. 「京BASIN 京抹茶」(税込480円)。京盆地のように魅力溢れるお菓子を作りたいという思いで命名された。

ミリ単位でのこだわり
ショーウィンドウからさらに奥に視線を向けると、今度は表面がキラリと光るポンポンショコラに目を奪われた。今回いただいたのは「KYOTO セレクション」(四種)。「柚子抹茶、みかん赤山椒、ダリクノワール、赤しそベリー」の4つのショコラからなる。これらのショコラはどれも二層構造になっていて、噛み締めるごとに味が変化していく。この多層構造がこだわりだそうで、ミリ単位で層が作られているらしい。「ぜひ食べる前に切って断面を見てみてほしい」と語る店主の奥野さん。一口で食べてしまっは勿体ないほどの美しさと創意工夫がそこにはあった。



織は2022年の2月にオープンしたばかりのお店だ。「生まれたての店だからこそ、これからの変化を楽しんでほしい」と奥野さんは語る。試行錯誤を重ね変化していく織を、リアルタイムで体感してみたいだろうか。

生まれたてのお店

- 〒602-8453
京都市上京区笹屋町一丁目 529 番地
- 不定休
- 地下鉄「今出川」駅から徒歩17分
- 11:00 ~ 18:00

今出川の美しさを求めて

美の街探索

1 北野ラボ (KITANO LAB)



〒602-8386
京都市上京区御前通一条上る
馬喰町914番地

📍 月・火 (祝日、25日の場合営業)

🚶 嵐電「北野白梅町」駅から
徒歩5分

🕒 12:00 ~ 18:00 (L.O.17:30)

2 二手舎 京都



〒602-0019
京都市上京区下木下町144-4

📍 不定休

🚶 地下鉄烏丸線「鞍馬口」駅から
徒歩8分

🕒 13:00 ~ 17:00
(オープンテイ)

御前通

千本通

今出川通

大宮通

2

衣櫛通

掘川通り

新町
キャンパス
同志社
大学

3

同志社
大学

同志社女子
大学

京都御所

4 笹屋町通

一条通

中立売通

5

油小路通

室町通

烏丸通

3 路地裏3坪雑貨店



〒602-0036
京都市上京区蒔屋町147-1

📍 不定期 (週3営業 / 詳細は
Instagram: @color_ideals にてお知らせ)

🚶 地下鉄「今出川」駅2番出口から
徒歩2分

🕒 12:00 ~ 18:00



4 織 (SHIKI)



〒602-8453
京都市上京区笹屋町一丁目
529番地

📍 不定休

🚶 地下鉄「今出川」駅から
徒歩17分

🕒 11:00 ~ 18:00

5 Azulejo PIKO



〒602-8061
京都市上京区甲斐守町121-3

📍 日・月・
月末月初の4日間

🚶 市バス「堀川中立売」から
徒歩3分

🕒 13:00 ~ 17:00

鮓

芳月

よしづき

つながり

「イマ＊イチ」をきっかけに「今出川地域」を知り、そして新たな出会い・繋がり創出を目指すコーナー「つながり」



今回は7月号に掲載した「CASA NANA」の店主・高杉さんのご紹介により、「鮓 芳月」へ取材に伺った。高杉さんが幼い頃からお世話になっているというお店で、今では家族ぐるみの「つながり」があるんだとか。そんな長い時を歩む「鮓 芳月」の魅力に迫る。

手間と想いがこもった料理

そんな魅力あるお店でいただいたのは、京風ちらしと9種のお造りがセットになったランチ限定メニュー（税込2000円）。京風ちらしは、海苔と甘く煮た椎茸が混ぜ込まれたご飯に、鰻がのっている贅沢品だ。お造りは、仕込みの兼ね合いで日々変わるため、何度訪れても楽しめる。口の中でとろけるような脂がのっている魚を岸本さんが一つ一つ丁寧にさばき、盛りつけてくれる。

その他にも赤だし・茶碗蒸し・デザートが楽しめる。デザートはなめらかなブリュレプリン。なんとこの品も岸本さんの手作りだ。岸本さんは「鮓 芳月」を始める以前、フレンチの修行をしていた。その際に培った技術を活かした一品である。

このような料理に岸本さんは、「お客様に美味しさだけでなく、楽しさも味わってほしい」という想いを込める。美味しい料理で楽しさを感じてもらうことを目指しているのだ。



姉妹店「#アマル」

「鮓 芳月」には、サンドイッチ専門店「#アマル」という姉妹店がある。岸本さんの奥様が経営されているお店だ。人気のたまごサンドは「鮓 芳月」と同じ玉子焼きがサンドされていて、唯一無二のサンドイッチである。「鮓 芳月」のすぐ目の前に位置するため、「鮓 芳月」の絶品料理を堪能した後は、「#アマル」にも立ち寄ってみてはいかがだろうか。

日本風情が漂う店

花街・上七軒にある「鮓 芳月」（すしよしづき）。お寿司でお客様をもてなす和食屋だ。店名「鮓 芳月」の由来は深い。「芳」は、店主・岸本さんの奥様のお祖母様のお名前からいただいた。「月」は、竹取物語の月の不思議な力にあやかかって名付けられた。したがって店内は竹をあしらった内装になっており、奥ゆかしい雰囲気漂う。そんな雰囲気惹かれてだろうか、「鮓 芳月」には舞妓さんがよく訪れる。店内には今までに来店した舞妓さんの名前がずらりと並ぶ。つまり「鮓 芳月」は舞妓さんのお墨付きというわけだ。



すしよしづき
鮓 芳月
075-462-1113

〒602-8381
京都市上京区今出川通七本松西入ル真盛町 730-1

月曜日

地下鉄「北野白梅町」駅から徒歩 11 分

ランチ 12:00~14:00 (L.O.13:30)
ディナー 18:00~22:00 (L.O.21:30)

075-462-1113



同志社大学 文学部美学芸術学科
教授

佐藤 弘

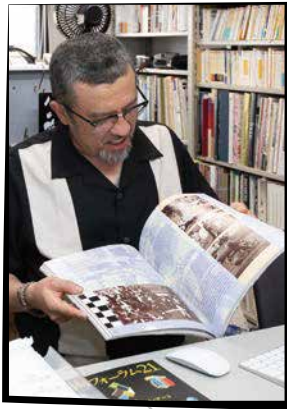
(いわゆる正統派の芸術は扱っていない)
文学部美学芸術学科に所属し、芸術学や視覚文化論といった学問を担当している佐藤キョウジュ。研究は写真の歴史や理論が中心である。日常生活の中で見る絵や写真などの「イメージ」と呼ばれるものから、人々がどのような影響を受け、どう読み解いているのかを研究している。作家の研究ではなく、見る人の反応に着目した研究であり、受け取る側がどのように文化を作っていくのかを考えている。美術史や文藝学といった、いわゆる正統派の美学芸術学の研究とはちょっと違い、「自分は学科の中では少し外れの位置にいる」とキョウジュは話す。写真やメディアのみならず、サブカルチャーについても研究を行い、最近では近現代京都の研究もしているという。伝統や文化といった典型的な「京都イメージ」をひっくり返すという目標を持ち、研究を行っている。大学教授という仕事にとどまらず、Webメディアでの連載や本の執筆など幅広い分野で仕事をしており、仕事を断らない性格であるらしい。そんな佐藤キョウジュの人生を辿っていく。

(サブカルチャーに
大きな影響を受けた学生時代)

小学生の頃、まあまあ優等生だったという佐藤キョウジュ。スポーツは得意ではなかったが勉強は得意であった。中学校は進学校に入学するが、周りのレベルの高さに圧倒され、成績が徐々に下がり始める。中学2年生になる頃、音楽に興味を持つようになった。学校の近くにあるジャズ喫茶に入りし、マスターに可愛がられ、そのうちバンクロックまで聴き始めるようになった。ここから佐藤キョウジュはサブカルチャーの世界に入り込んでいく。
大学は早稲田大学の政治経済学部に入學。東京では、バンド活動やDJ活動、麻雀をするなど、楽しく充実した生活を送っていた佐藤キョウジュは、サブカルチャーに囲まれた環境下で、様々な分野に興味を持っていったという。そうした生活を送る中で、DJ活動の経験から、アメリカに行つて音楽制作するエンジニアとなり、音楽の世界に入ることを考えるようになっていった。そして26歳の時、コロンビア大学に進学。大学入学のために熱心に英語の勉強を重ねた頃から勉強の面白さに気づくようになっていった。入学後は様々な授業を取っていたが、「英語の文献を読むのに苦労した」とキョウジュは振り返る。当時、美術にはあまり興味がなかったが、大学では美術史を選択。そこで当時最先端であった「ニューアートヒストリー」という美術史に魅了され、美術が学問の中心になっていった。その後、海外での学びを活かすため、日本の大学院への進学を決めた。

(理論系の研究者同士で
生まれた横の繋がり)

30歳の時、日本に帰ってきて同志社大学の大学院に進学する。佐藤キョウジュは、これまでの人生で様々な分野に興味を持ち続けてきた。それは「一つのことをずっとやり続けることが苦手であること」の裏返しでもある」とキョウジュは話す。博士論文でも、最初は誰も研究していない江戸の幕末の絵を研究していた。しかし、2〜3年経った頃、キョウジュはその研究に飽き始めていた。それは担当教員も知るところであった。そうした中、他大学の院生や知人と京都で写真研究会を立ち上げる。Webメディアにおいて書評を出し、次々と論文を発表するなど東京でも注目され、この頃から写真や視覚文化を研究の中心に定めた。
博士課程を終え、複数の大学で講師をした後、京都精華大学に着任。比較的規模の小さな大学であったため、音楽や漫画などの幅広い分野の研究者と共に研究を重ねることができた。デザイナーや漫画家、アーティストなどといった作家側の研究者は数多く存在する。その一方で、佐藤キョウジュ



のようない理論系の研究者は少数派である。そのため、系統の同じ研究者同士、複数の分野を跨いだ横の繋がりも生まれていった。その繋がり活かし、音楽や漫画などの幅広い分野の研究者と研究会を開いていた。同志社大学には2020年に着任。「着任したのがコロナ禍の真っ只中であったため、大学の全体像を掴めておらず、まだまだ手探りの段階だ」とキョウジュは話す。大きな大

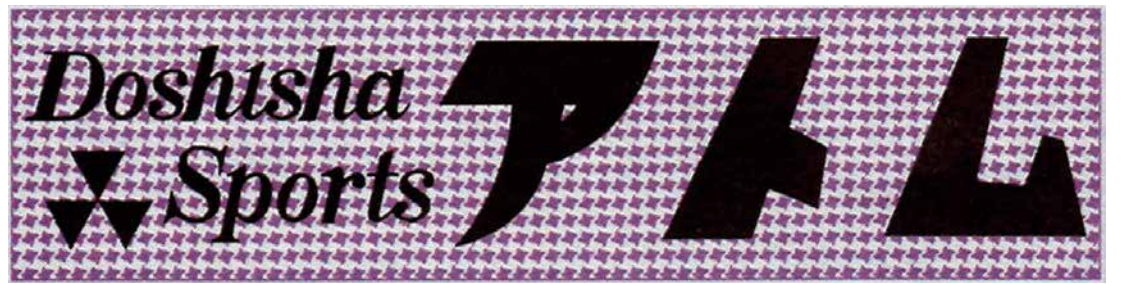


(全ての経験が授業のネタに)

学であるため全体を見通すことが難しいが、様々な先生と交流を深め、幅広い分野での研究を進めているそうだ。

幼少期から様々なものに興味を持ってきた佐藤キョウジュは、これまでの人生でサブカルチャーの分野を体感したことで、「全ての経験が今に繋がっている」と話す。学生時代の遊んでいた時期の経験や出会いが授業のネタになり、研究になり、新たな興味にも繋がっている。全ての経験を無駄にはしない。そんなキョウジュが今後やりたいことは、芸術学の視点から「ポップ」という概念を整理することだ。
「ポップな色」と「ポピュラーな色」と聞いた時、どんな色を思い浮かべるだろうか。おそらく異なる色を思い浮かべるだろう。つまり、「ポップ」と「ポピュラー」は異なる概念である。ポップがあつてポップアートができたのではなく、アートがポピュラー文化から選んだものが「ポップ」になったという。大衆向けの文化である「ポップカルチャー」の美学について、研究を行いたいと考えている。

様々な分野に興味を持ち、楽しそうに話をしてくださるキョウジュの姿は輝きを放っていた。全ての経験が今に繋がっている。常に心は充実していた。そんな佐藤キョウジュの人生に筆者は魅了された。



出張版

体育会の情報誌「同志社スポーツアトム」がイマ*イチに出張掲載
 体育会の活躍をイマ*イチの読者にもお届けします。

ハンドボール部女子

8月9日から11日にかけて西日本学生ハンドボール選手権がスカイホール豊田（愛知県）で開催。全日本インカレベスト8の夢をかなえたい同部は、リーグ2位以上となりインカレ出場権を獲得する必要があるので、近畿大と東海学園大を制しインカレへ駒を進めた。

初戦の近大戦は開始50秒に堀のシュートで先制点を奪うも、相手の素早いパス回しに翻弄され立て続けに2点奪われた。しかし前半17分に連続得点を決めると、前半を8-7の接戦で終えた。



▲ 喜びを見せる佐藤

迎えた後半、ついに均衡が破られた。榎本の好セーブを攻撃の起点とし、徐々に流れが同志社に。5連続得点を奪い、一気にリードを広げた。「数的有利をしっかりと自分たちが攻めきれた」（佐藤）。その後も6連続得点を決めるなど、相手に大きく突き放し、23-14で初戦を白星で飾った。

2戦目は全日本インカレの切符を懸けて東海学園大に挑んだ。開始2分、川野のポストシュートが試合を動かすも、前半7分で自陣のペナルティにより5名でのプレーを余儀なくされる。その後は榎本の好セーブが光り、逃げ切る形で前半を折り返した。

「大差で勝つつもりが苦しい展開になった」（佐藤）。後半9分に同点に追いつかれると、さらに後半15分には相手のジャンプシュートが決まり逆転を許した。だが丁寧なパス回しで田中がサイドシュートを決め、終盤に突き放し試合終了。2年越しにインカレへの切符をつかんだ。

勢いに乗って臨んだ3戦目は連勝を飾りたいものの、環太平洋大に最後まであと一歩及ばず、19-23で敗北を喫し2勝1敗でリーグ2位。準決勝進出とはならなかったが、全日本インカレベスト8の夢を達成するため、全国への切符を西日本インカレの舞台で手にした。「みんな



▲ ゴールを死守する榎本

の想いを背負って何より楽しんでハンドボールができた」（佐藤）とチームスポーツならではの魅力を語った。秋リーグ戦に向け、チーム万全で臨み、全員で白星をつかめ。

サッカー部女子

7月23日に西京極総合運動公園補助競技場で京都FAカップ2023第19回京都女子サッカー選手権大会兼第45回皇后杯全日本女子サッカー選手権京都府大会3位決定戦が行われた。同志社はTANGO QUEENSと対戦し、2-0で勝利。3位に輝いた。

前半戦から同志社は積極的にゴールに迫った。前半8分、岩井がプレスをかけて、相手がトラップミスしたボールを奪うことに成功。棍にパスが通るとサイドに走り出した袖木崎にボールが渡り、CKを獲得する。得点には至らなかったが、

幸先の良いスタートを見た。前半32分、滋野がセカンドボールを保持すると得意のドリブルでペナルティエリア内に侵入を試みる。シュートを放つも、サイドネットを揺らした。前半戦は得点の好機はあったが決め切ることができず0-0で終了した。

運命の後半戦、序盤からピンチを迎える。相手は細かいパス回しで同志社を翻弄し、サイドを突破。クロスを挙げられ失点の危機を迎えるもGKのスーパーセーブもあり、失点を許さなかった。後半27分、徐々にラインを上げていきゴールに迫る。セットプレーが続ぎ、一度はポストに弾かれるもこぼれ球を岩井が決め切り待望の先制点を入れた。先制点を取ってもなお、同志社の勢いは止まらない。同40分にも松本が追加点を挙げ、点差を広げた。



▲ ゴールを決め仲間のもとに向かう松本

同志社は2-0で勝利を収め3位に輝いた。「前半を0で抑えて粘り強く戦えたことが、後半に繋がったと思う」（若林）と春季リーグ戦から目標にしていた無失点で試合を終えることを皇后杯の最終戦でやっつけた同志社。1試合毎に成長を続け、チーム全体で戦ってきた。個の力だけでなく、組織の力で向かってくる敵を撃破する彼女たちの戦いから目を逸らすな。



▲ パスを出す岩井

ボランティア支援室からのお知らせ



ボランティア支援室とは？

幅広い分野のボランティア情報が集まる、ボランティア活動の相談窓口です。
ボランティアに関する講座やイベントを行っています。ボランティア体験プログラムも主催しており、初めての人でも安心してボランティアを始めることができます。

良心館地下ラウンジに ボランティア資料室が移転しました！



※画像は旧資料室の様子です

様々なボランティア募集チラシの閲覧が可能！
ボランティア資料室では、現在募集中のボランティア募集チラシや、ボランティアに関する書籍が置いてあるなど、ボランティアに関する情報収集ができる場所です。

これまでは寒梅館の廊下にひっそりとありましたが、これからは授業の合間や帰り際など、より気軽に立ち寄りいただけるようになりました。ぜひ気になる活動がないか覗きにきてください！最新のおすすめ情報は公式LINEにて配信中！

公式LINE友だち募集中
最新のボランティア情報をお届け！

ボランティア相談 受付中！
どうやってボランティアを探せばいいかわからない、たくさん情報がありすぎて、どれに参加すればいいか迷う、そもそもボランティアってどんな活動？など、ボランティアに関する相談もボランティア資料室内で受け付けています。ボランティア支援室の学生スタッフARCOと一緒にボランティアを探したり、経験談をお伝えしたりしています。相談受付時間の最新情報は、SNSをチェックください！

学生目線でボランティア情報を発信しています
今出川 京田辺

Campus Information

～同志社大学全学 EVE 実行委員会より～

同志社大学は、11月29日に148回目の創立記念日を迎えます。この創立記念日を祝う行事として同志社EVEが行われてきました。そのため、同志社EVEは学園祭ではなく、創立記念行事ということになります。毎年、11月1日から11月28日を「EVE期間」として、11月26日から28日を「EVE出店期間」として同志社EVEは開催されています。「EVE出店期間」では、教室や屋外に出店が行われる他、3つのステージなどで学生のパフォーマンスやファッションショーなど様々な企画を見ることができます。過去3年、同志社EVEは新型コロナウイルスの影響により感染症対策として観客や出店などに制限を設けての開催となりました。しかし、今年度は感染症の流行や社会情勢を注視しつつも各種制限をなくし、昨年度よりも活動の幅を広げ、学外生などを含む一般人の参加も可能としました。同志社EVEの理念である「学生の自主管理・自主運営」と「団体の活動の発露の場」を守り、同志社EVEが我が校に存在する団体の活動を広く知っていただけるような機会になるように活動していきます。今年度の完全対面開催が、今後の同志社EVEの発展の足掛かりとなり、参加していただいた多くの人に希望を与えることができる創立記念行事にしていきたいと考えています。当日、お待ちしております。ぜひご来場下さい。

～今年度のテーマ 148th 今を紡ぐ、人を結ぶ～

私たち同志社大学生がこれまでの同志社EVEを作り上げてきました。そこから受け継がれた伝統や想い、そして私たちが生きている「今」を紡ぎ続けることによって、これからのEVEに更なる発展をもたらす事を目指します。また、EVEの開催が人と人とを結び、参加した人全てにとって特別な場所になる事を願ってこのテーマを作らせていただきました。

公式ホームページ 公式 X(Twitter) 公式 Instagram



同志社大学全学 EVE 実行委員会

欧州で最も権威ある映画雑誌「サイト&サウンド」(英国映画協会発行) 選出
The Greatest Films of All Time 世界の映画ベスト 100

2位『めまい』
 3位『市民ケーン』をみさえて **史上最高の映画ベストワンに選ばれた傑作中の傑作!**

12月14日(木) 16:30 開場 / 17:00 上映

『**ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル 1080、
 コメルス河畔通り 23 番地**』

1975年 / 200分 / ベルギー・フランス / 日本語字幕付き
 監督・脚本: シャンタル・アケルマン
 出演: デルフィーヌ・セイリグ、ジャン・ドゥコルト



(C) Chantal Akerman Foundation

寒梅館ハーディーホールで特別上映!



開講期間中の毎週火曜日、寒梅館クローバーホールでも
 映画上映を中心とした催しを開催

会場 **寒梅館クローバーホール** (今出川校地 寒梅館地下1階)
 料金 **入場無料**

君はジョン・フォードを知っているか? 映画監督ジョン・フォード没後 50 年特集
 併映「ハリウッドの黄金時代」～ハワード・ホークスほか **不滅の映画監督**

会期: **10/24、10/31、11/7、11/14、11/21、12/5、12/12、12/19***すべて火曜日
 上映作品: 『**アイアン・ホース**』(1924年/118分/サイレント) 『**周遊する蒸気船**』(1935年/81分)
 『**ハリケーン**』(1937年/103分) 『**若き日のリンカーン**』(1939年/100分) 『**アパッチ砦**』(1948年/128分)
 『**幌馬車**』(1950年/85分) ほか
 【特別上映】『**ジョン・フォードと『投げること』 完結編**』(2022年/60分/監督: 蓮實重彦、三宅唱)
 *詳細は決まり次第、公式サイトなどにアップします。



観る立場から表現する立場へのシフトのキッカケになるような
 演劇・音楽などのワークショッププログラムを開催します。

WOT/CTチャンネル

映画などさまざまな文化を紹介するレクチャーなどの配信企画「WOT/CTチャンネル」。
 学生支援センターYouTubeサイトにて配信中です。

主催・お問合せ

同志社大学今出川校地学生支援課
 TEL 075-251-3217 (ホール担当) E-mail ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

- * 諸事情により内容が変更になる可能性があります。ご了承ください。
- * ご来場の際は公共交通機関をご利用ください(駐車場・駐輪場はございません)。
- * ホール内は飲食禁止です。ご了承ください。
- * 未就学児の入場はご遠慮ください。



寒梅館ホールスタッフ
 インスタグラム↑

木曜日には何かがある!

木曜日には何かがある! を合言葉に
 開講期間中の毎週木曜日、寒梅館ハーディーホールにて
 映画上映やコンサートなど様々なプログラムを開催します

What's on Thursdays = WOT (ワット!!)



会場 **寒梅館ハーディーホール** (今出川校地 寒梅館地下1階)

料金 **同志社大学学生・教職員** (同志社諸大学含む) **無料**
 【秋学期特別価格】一般 1000 円、Hardience 会員・他大学生 500 円

すべて観てみよう!

世界が認めた日本の監督たち! 21世紀の日本映画 part 1

☆世界が驚愕したアニメーションによる新・筒井ワールド!

10月12日(木) 18:00 開場 / 18:30 上映

『**パプリカ**』 夢とリアルが入り混じるー
 2006年 / 90分
 監督: 今敏 原作: 筒井康隆 音楽: 平沢進
 出演(声): 林原めぐみ、江守徹



『パプリカ』(C) Madhouse, Inc. and Sony Pictures Entertainment(Japan) Inc. All Rights Reserved.

10月26日(木) 18:00 開場 / 18:30 上映

『**時をかける少女**』 待つてられない 未来がある。
 2006年 / 98分
 監督: 細田守 原作: 筒井康隆
 出演(声): 仲里依紗、石田卓也



『寝ても覚めても』(c) 2018 『寝ても覚めても』製作委員会

☆21世紀のラブストーリー

11月9日(木) ①15:00 開場 / 15:30 上映 ②18:00 開場 / 18:30 上映

『**寝ても覚めても**』 驚きのストーリー。
 2018年 / 119分 運命の人は二人いた。
 監督: 濱口竜介 原作: 柴崎友香
 出演: 東出昌大、唐田えりか

11月16日(木) ①15:00 開場 / 15:30 上映 ②18:00 開場 / 18:30 上映

『**愛がなんだ**』 この映画には恋のすべてが詰まっています。
 2019年 / 123分
 監督: 今泉力哉 原作: 角田光代
 出演: 岸井ゆきの、成田凌



☆国内外の映画祭総ナメ

11月30日(木) ①15:00 開場 / 15:30 上映 ②18:00 開場 / 18:30 上映

『**ケイコ目を澄ませて**』 ★第46回日本アカデミー賞、第77回毎日映画
 コンクールほか多数
 2022年 / 99分
 監督: 三宅唱 原案: 小笠原恵子 逃げ出したい、でも諦めたくない。
 出演: 岸井ゆきの、三浦友和

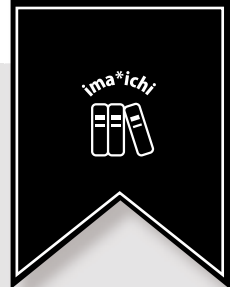
『ケイコ目を澄ませて』© 2022 映画「ケイコ目を澄ませて」製作委員会 / COMME DES CINÉMAS

12月7日(木) ①15:00 開場 / 15:30 上映 ②18:00 開場 / 18:30 上映

『**ベイビー・ブローカー**』★第75回カンヌ国際映画祭男優賞ほか多数
 2022年 / 130分 / 韓国 / 日本語字幕付き
 監督: 是枝裕和
 出演: ソン・ガンホ、ペ・ドゥナ
 <赤ちゃんポスト>で出会った彼らの、特別な旅が始まるー。



『ベイビー・ブローカー』(c) 2022 ZIP CINEMA & CJ ENM Co., Ltd., ALL RIGHTS RESERVED



editor's note / 編集後記

編集長
磯部遥文

副編集長
田中梨沙
末岡かえで

チーフ
清水寛生 (カメラマン)
雑喉碧羽 (デザイナー)
竹縄朱優 (ライター)

会計
堀之内涼

カメラマン
佐々木瑠偉
清水寛生
相馬碧斗

デザイナー
伊藤奈菜子 (コラム・編集後記)
太田夕貴 (出張版アトム)
岡田華鳳 (目次)
柿本歩香 (特集 p.04-05)
雑喉碧羽 (特集 p.02-03)
竹中翔悟 (連載)
田中梨沙 (表紙)
塚本向日葵 (特集 p.06-07)
宮脇一樺 (コラム・編集後記)
山本智天 (つながり)
和田明莉 (特集地図)

ライター
伊藤奈菜子 (特集 p.06)
妹川創 (特集 p.04)
島田真衣 (特集 p.05)
清家詩乃 (コラム)
竹縄朱優 (コラム)
細川瑞生 (特集 p.07)
堀之内涼 (連載)
松村美菜 (つながり)
吉政尊盛 (特集 p.03)

メールアドレス (imaichi2023doshisha@gmail.com) に

1. お名前
2. ご住所・郵便番号
3. 年齢 (任意)
4. イマ*イチ 10月号を入手された場所
5. イマ*イチ 10月号で1番良かったページとその理由
6. イマ*イチ 10月号全体を通してのご感想 (任意)
7. 上京区でおすすめのお店とその理由 (任意)
8. 今後のイマ*イチに期待すること (任意)

を明記の上、お送りください。

締め切り: 2023年10月26日まで

こちらのQRコードからも
簡単にご応募いただけます!



私のイマ*イチ column / コラム

私にはイマデガワ校地でイチバン好きな風景がある。それは、烏丸通りに面する西門を入ると長く続く「パーパスロード」である。

私はパーパスロードを歩くとき、ある友人との思い出がよみがえる。その友人とは入学式で席が近く、式典後に話したことがきっかけで仲良くなり、今では一番の親友である。教科書を購入するための列に並びながら色々な話で盛り上がったことや、クリスマス・イルミネーション点灯式を一緒に見たことなど、パーパスロードで親友と笑い合った思い出は数多い。

三年生になり、専攻が異なるその親友とは会う頻度が減ってしまった。しかし、壮大なパーパスロードを歩いていると、今度会ったときに聞いてほしい話や遊びに行きたい場所について思いが膨らむ。

パーパスロードから広がった親友との思い出。残りの大学生活の中で、パーパスロードのように大切にしたいと思える風景をどれだけ見つけることができるのか、とても楽しみだ。

パーパスロード

法学部 三年生

episode 1

今 出川で一番心に残っているものとは何だろうか。それを考えたとき、これだの一つのものに絞れる人間はいないのではないと思う。こういう観点ではこれ、そういう意味ではそれ、ああいった感じならあれ。別々の分野にそれぞれの一番があるのではないか。

私も同様で、そういった一番があちらこちらに転がっている。あの子と一番話が弾んだのは近場のやよい軒、部活の仲間と一番笑いあえたのはサイゼリヤ。一番辛かったことを経験した後に辿り着いていたのは今出川駅三番出口で、喧嘩した子と一番決定的な溝を感じたのは新町キャンパスの通路。一番嬉しいことがあったのも、一番切ないことがあったのも、大学前の交差点。どれも一番で、過去の私の瞬間を鮮烈に彩ったものだ。

ただその一番たちがどうにかして、最後は「大学生活という一番の思い出」のような大団円に収まってほしいと、そう願っている。

そんな一番

文学部 二年生

episode 2

読者プレゼント



※対象作品は複数ございます。作品の詳細は p.18 をご覧ください。

10月号の感想を送っていただいた読者の皆様から抽選で10名様に「WOT映画鑑賞へアチケット」をプレゼントいたします。なお使用期限は2023年度中とさせていただきます。

※個人情報二次利用はいたしません。当選者の発表は発送(10月末を予定)をもってかえさせていただきます。

また、感想の内容を個人を特定できない形で誌面に掲載する可能性があります。

発行日：2023年10月1日

発行：同志社大学 学生支援機構
今出川校地学生支援課

編集：同志社大学広告研究会 add's

Instagram : @ima_ichi2023

X(Twitter) : @ima_ichi

